

要請番号 (JL46920A15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モロッコ	H107 助産師		個別	交替 2代目	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

エルジャジダ県保健支局

3) 任地 (エルジャジダ県エルジャジダ市) JICA事務所の所在地 (ラバト)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (鉄道 で 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同配属先は県内の保健センター(分娩施設付保健センター含む)及び簡易診療所を管轄している。地域保健はSERS(地域保健担当部署)が母子保健や地域保健、巡回診療などを担当している。同支局が所在する県内に一次医療機関として複数ヶ所の保健センターがあり、母子保健分野に関しては妊婦健診、家族計画、乳幼児の予防接種等を業務として行っている。分娩施設付保健センターでは助産師が分娩助産を行っている。各保健センターでは、妊婦健診プログラムの一環として母親学級を実施することとなっている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では妊産婦及び乳幼児死亡率が高く、保健省では周産期ケア改善を重点課題の一つとしており、日本は無償資金協力「地方村落妊産婦ケア改善」による産科関連医療施設、技術協力プロジェクトと国内研修を中心とした保健人材の育成に重点を置いた協力を展開してきた。保健省は2009年より、妊産婦の知識向上を図るため母親学級の全国展開を進めており、JICAの母子保健専門家(帰国済)及び助産師隊員が母親学級の実施や講習会、教材作成支援を行った。同支局には2016年8月より助産師隊員が2代に亘って派遣され、保健センターで主に母親学級の普及を行っている。同活動は定着されてきているが、引き続き母親学級の定着・質の向上にかかる普及活動が期待され後任要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

県保健支局のSRES(地域保健、巡回診療等の業務を担当する部署)に所属し、母子保健担当者等と共に下記に挙げられるような活動を行う。身体への侵襲行為は行わない。

1. 県内保健センター等で実施中の母親学級の実施状況追跡調査、提言、質の向上を図る。
2. 母親学級が実施されていない保健センターでの普及と定着を図る。
3. 産前・産後健診の質の向上を図る。
4. 母子保健サービスの改善に向けた支援を行う。
5. 可能な範囲で医療サービスの質改善のための5S-KAIZENの紹介を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

啓発用教材(紙芝居、母子手帳、普及ガイド等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
県支局長(医師、男性)
SRES長(医師、男性)
母子保健推進担当者(女性)

活動対象者:
保健センタースタッフ(医師、助産師、看護師)
妊婦

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(助産師)

[性別]：() 備考：

[学歴]：(短大卒) 保健医療 備考：活動に必要な最低限の知識のため

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：同僚の指導が必要のため

[参考情報]：

- ・母親学級の実務経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(5～45℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可 無線)

[水道]：(安定)

【特記事項】

本要請は啓発活動のみで身体への侵襲行為は行わない。モロッコの医療体制・環境は十分に整っていないこと、医療従事者は日本とは業務への考え方が異なるため、その状況の中で出来ることを実行することが求められる。